

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、
内容を理解してからご使用をお願いいたします。また本取扱説明書は大切に保管してください。

Thank you for purchasing our product.

In order to ensure that you receive the maximum enjoyment and safety, read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

Kindly keep this manual in a convenient place for quick reference.

完成図



※ロッジ窓のインナーテント、グランドシート、インナーマットは別売りです

UJack公式SNSのご案内

<Twitter> <Instagram> <Youtube>



フォローしてUJackの最新情報をゲットしよう!

UJack 公式ホームページ



LINE公式アカウント(@ujack)では
新商品やお得な情報を配信中!



警告

- 死亡または重傷などを負う可能性が想定されるものを示します

- ・テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。
火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- ・テントを使用の際には定期的な換気を行ってください。
- ・河原の中州や崖下などの増水、落石の危険がある場所には設営しないでください。
- ・台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営、ご使用をしないでください。特に気象庁が定める風速10m/s(最大瞬間風速を含む)以上の強風である場合は設営を行わないでください(テントの破損及び破損した部品による怪我のおそれがあります)
- ・ガス地帯等、天然ガス等が発生する場所で組み立てや設営、ご使用をしないでください。
- ・電線の近くで組み立てや設営をしないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
- ・ガス管などが埋設されている場所の近くで設営をしないでください。
- ・使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止しすみやかに撤収、安全な場所へ退避してください。
- ・小さなお子様のご使用の場合保護者の方はお子様から目を離さないでください、日中テント内は高温になることがありますので熱中症などには特に気をつけてください。
- ・本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、または異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。



注意

- 傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されるものを示します

使用者及び他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に記載する事項を必ずお守りください。

- ・本製品は日よけ、小雨よけなど一時的な使用を目的として設計されています。常設したり強風や大雨、降雪時には絶対に使用しないでください。
- ・風の強い時はテント、タープを設営しないでください。本体やペグなどが飛ばされて本体が破損したり、人に怪我を負わせるなど、思わぬ事故の原因となります。特に気象庁が定める風速 10m/s(最大瞬間風速を含む)以上の強風である場合は設営を行わないでください。
- ・各部の構成をよく把握し、組み立て順序に従って取り扱ってください。
- ・解体・撤去の際は、組み立ての逆の順序で必ず行い、特に手や指を挟まないようにご注意ください。
- ・組立、設置、解体には安全のために手袋等の防護具を着用してください。
- ・小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。
- ・快適なキャンプのためにも製品の破損や付属品の不足がないことを確認してから使用してください。
- ・必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用してください。(特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意ください。)
- ・小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- ・組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- ・テント、タープの設営の際は、水はけがよく平らな場所を選んでください。
- ・石や小枝などのテント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地したうえで設営してください。
- ・ペグやロープでしっかりと地面に固定してください、また砂地や河原、風が強めの日など付属のペグで固定が不十分な場合は、設営場所に合わせた市販のペグをご用意ください。
- ・説明書に従いすべての張り網を確実に固定した状態でご使用ください。
- ・焚火のそばなど火があたる可能性のある場所、火の粉がかかるおそれのある場所では使用しないでください。
- ・製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- ・お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断りいたします。

収納保管について

- ・使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食の原因となります。
- ・汚れを落とす場合は固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- ・高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- ・本体や収納袋は洗濯しないでください。
- ・幼児や小さなお子様の手が届かないところに保管してください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度(湿度)が高くなった場合に起こりやすく、定期的に換気をおこなうことで改善することができます。

一部シームシーリング剤による目止めについて

防水加工は施されていますが製品の構造上、雨量によって縫い目やジッパーの合わせ目から浸水する場合があります。必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。また定期的に点検をおこない、シームシーリング剤が剥離してしまった場合には塗布しなおしてください。

グラウンドシートの併用について

テントの汚れや傷、雨水の浸水などを防ぐためにもグラウンドシート(テントの下に敷くシート)の併用をおすすめします。グラウンドシートがない場合は、ビニールシートやブルーシートでも代用できます。

お問い合わせ先情報

製造者名：株式会社 UJack

郵便番号：283-0005

住所：千葉県東金市田間 2216-1

連絡先：info@ujack.co.jp

対応時間：10:00 ~ 17:00(土日祝日を除く)

製品には万全を期しておりますが万一なにかございましたらお気軽にお問い合わせください

内容品について

キャンプへご出発前に必ず内容品を確認しておいてください。(設営には別途ペグ及びペグハンマーが必要です)



セット内容

フライシート / スチール製一体型フレーム×1
アルミ キャンプポール Φ19mm:210cm×2組
出窓用アルミポール Φ8.5mm ×2組
ガイロープ(Φ3.5mm) 5m×6本、3m×6本
ペグ×26本(蓄光PE) 結束ベルト×2 本体収納袋

※インナーテント(インナーシート)は別売りです

※セット内容は予告なく変更することがございます。

設営方法 - 1人でも設営可能です

1 設営前の確認

セット内容の確認をして不足や破損、異常がないかを確認します。気象条件、地面 の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定しましょう。地面に落ちている小枝や小石などをきれいに取り除く。(専用グランドシートの設営を推奨)

※設営にはペグハンマーをご準備ください。ペグは使用するものにより耐候性がUPします。(ペグはUJackトライステーク、 ペグハンマーはペグハンマー VHH がおすすめです)



▲UJackトライステーク



▲UJackペグハンマーVHH

2 テント本体の展開

STEP1

まず本体を縦にしたまま、テントを設置する位置まで運びます。

シルバーのコートが傷ついてしまう恐れがありますため、収納袋から出したままのテント本体は地面で引きずらないようにしてください。中央ポールの下側2本の黒いパーツを地面側(ここがテントの中心になります)にし、2本のベルトを外し中央ポールが立つ状態のまま脚6本を周囲に広げます。(長手の辺の2本はぱたんと倒すのみ)

STEP2

フライシートの外側を上にして長方形に広げたら、シートの中に潜り込んで中央ポールを傘のように広げます。

テント本体が低いまま展開した状態になれば、テントの入口の向きや位置移動が可能になりますので便宜調整をします。

(移動・調整はポールに負荷をかけずまた、裾を引きずらないように2名以上での作業を推奨。)

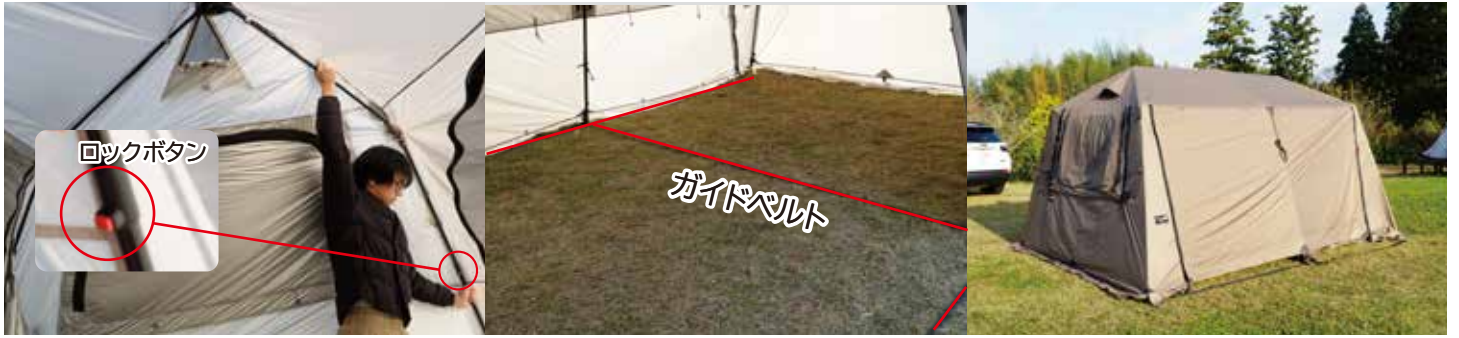


STEP3

テント本体の内側より、フレームのロックボタンを押し、各脚を下側に向かってカチッと音がするまで脚を伸ばします。

(左右交互に伸ばしていくとバランスがとりやすくなります / 全 6 カ所)

フライシート下部：地面側にあるガイドベルトが H 形にピンと張るように各脚の位置を広げ、位置を調整します。



3 テント本体の固定 [ペグダウン：テントを地面に留める・ガイロープ（ストームロープ）を張る]

テントの脚の部分にあるループ全 6 カ所にペグハンマー(別売り)を使用してペグを打ち込みテントを地面に固定します。



外周 4 辺のタブからガイロープを張り、(※テントとロープが別になっている際はもやい結びで留めます)ペグ打ちをします。

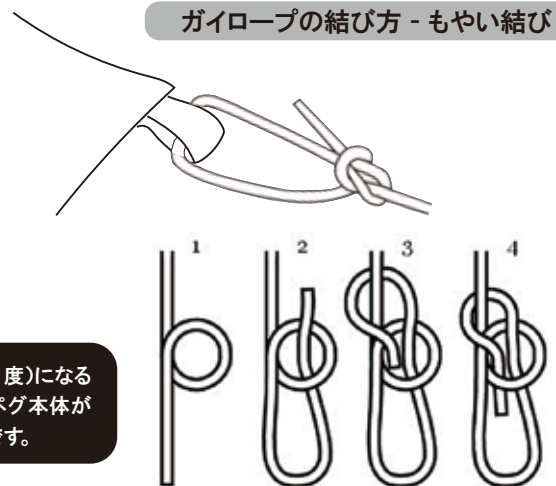
自在金具を調整して 2 連になっているガイロープに適度な張りを持たせます。

テントの前後 2 カ所は必要に応じて加えてください。(風に対する耐性が向上します)



ペグはロープの向きに対して垂直(90度)になるように打ち込みます。地面に対してペグ本体がおよそ45度~60度の角度が適当です。

ガイロープの結び方 - もやい結び



4 出窓の作り方

出窓用フレームのテンションコードを伸ばしてつなぎ、2組のコの字型フレームを作成します。
出窓の外縁になる左右のファスナーを開き、同じくサイドシェードを止めているファスナーも開きます。
出窓の内側の下の両辺にあるスリーブにどちらか一方から押すようにしてコの字フレームを通します。
(フレームはコの字型の形で押し込んでいきます。※逆に引かないようにしてください)
貫通したポールの本端はそれぞれテント本体側のハトメに差し込みます。
ポールを入れたスリーブの入り口にベルクロがあるので、両側ともポールに巻いて止めます。
出窓のサイドをトグルで巻いて左右に空間を空けたり、カバーを巻き上げて透明窓で使用することができます。



出窓の上のベンチレーションにアクセスするには、ポールの根本のハトメを外し出窓をたたむことで手が届きやすくなります。
(テントの内側から出窓の面を引込んでそこから身を乗り出せば最短距離でベンチレーションにアクセスすることもできます)
出窓のコーナーには出窓の耐風性能を上げるためのベルトループも設けられています。(ガイロープ、ペグは別途ご用意ください)
※詳しくは巻末のQRコードより動画マニュアルをご覧ください

5 キャンピアーの立ち上げ

キャンピーポールを2セット組みます。テント正面の左右のファスナーを開き、両端の金具にガイロープをもやい結びで留めておきます。片方のポールの先端のピンを金具にかけ、地面にポールを立てながらテントから斜め45度の方向にロープを引いてペグ打ちをします。2本目のポールもペグ打ちが終わったらポールの脚位置やロープを微調整して左右のバランスを整えます。



<応用編>

キャンピーのサイドウォールのファスナーを開いて更にガイロープを末端に掛けることで、タープスタイルでの使用もできます。雨天の際、キャンピー中央にあるループにガイロープを掛けることでキャンピーに水がたまるのを抑制することができます。また、キャンピー中央の前後の支柱にあるタブを使用して耐風性を高めることができます。(ガイロープ、ペグは別途ご用意ください)



6 オプションの設置 (グランドシート・インナーテント・インナーマット・お座敷シート)

基本はグランドシート・インナーテントはテントを正面口から見て向かって右側に設置します。(左側だとD窓スタイルになります)

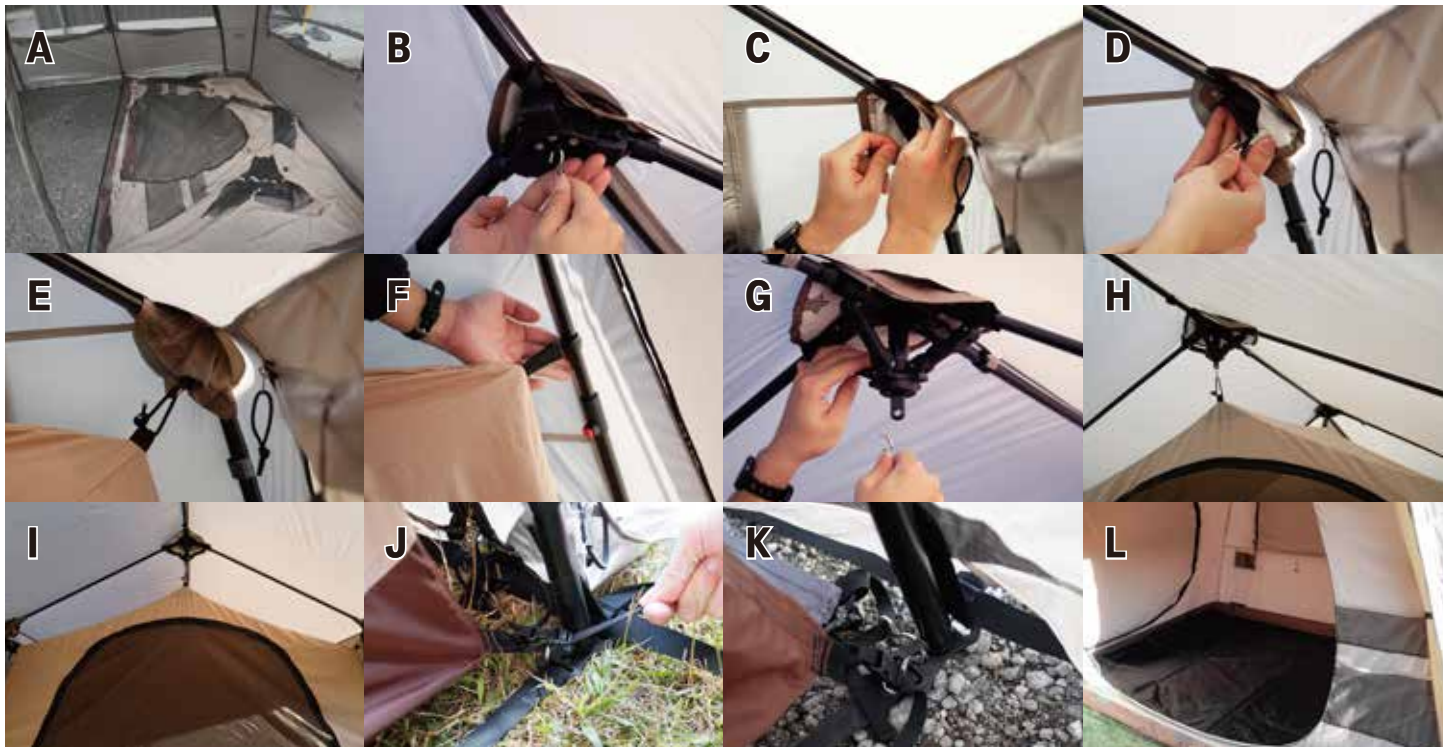
グランドシート

シートの表裏を確かめ、縫い目の部分に透明なシームシールが見えている方が上側(内側)になるように地面に敷きます。テント右半分の脚にあるプラスチックの部分にそれぞれ引っ掛けます。(フックせずに敷くだけでもOK)



インナーテント

- ① インナーテントを入口(メッシュポケットがある側)を向かって左側にし、底面をグランドシートに合わせて平らに敷き広げます。4隅のフックをグランドシートと同様の場所に引っ掛けます。[A.K]
 - ② インナーテントの中央のフックを本体フレームの中央の右奥部分(ベンチレーション窓のそばのフレーム基部)に吊り下げます。[B] コーナーのフックはフレームについている保護カバーのベルクロをはがしてそこに引っ掛け、再びカバーを閉じます。[C.D.E]
 - ③ 同じコーナーのインナーテント中間にあるポールフックをポールの伸縮ボタンの上側にかけます。[F] 残り3辺も同様にセットします。[C.D.E.F]
 - ④ 最後にインナーテントの入り口中央のフックを本体フレーム中央のフレーム基部に吊り下げます。[F]
 - ⑤ インナーテントの4隅のテンションベルトを引いてたわみを調整します。[J]
- ※インナーマットはインナーテントの形に合わせて敷くだけでOKです。[L]
※オプション品の撤収は設置と逆順でおこなってください。



お座敷シート

インナーテントと逆側の向かって左側のサイドに設置しますが、向かって右側にインナーテントと接続するベルクロがくるように向きをそろえて設置してください。グランドシートと同じように4隅を引っ掛け、テンションベルトを調整します。[K] 奥側を先に閉めて入り口側の地面にスペースを持たせると、脱いだ靴などが置きやすくなります。



7 テント（フライシート）の撤収方法

1. ベンチレーションの支柱（ベルクロ留め）を外します。
出窓のポールを押ししてどちらかの反対側に抜きます。（引くとポールが抜け破損の原因になりますため、押し出して抜いてください）
※出窓の巻き上げや窓などは使ったままの状態でも OK です。
2. 内部から各脚の伸縮ボタンを押して、各脚全6本を短く縮めます。〔図1・2〕（※指の挟みこみに注意）
※縮みにくい場合は各所のバランスを取りながら最後までしっかり縮めてください。
3. 外側から、入口・キャンピー部分のファスナーを閉じます。
4. 四隅の関節を軽く押し込むように谷側に折り込みます。〔図3〕（※異常が感じられたら無理に押さないで状態をよく確認してください）
5. 中央寄りの残り4か所をさらに押ししてたたみます。〔図4〕（無理な力が掛からないよう注意してたたんでください）
6. 中央のポストを残して全てのポールがたたまれましたら、外側4隅の脚を中央へ閉じるようにたたんでいきます。〔図5〕
7. 更に全6カ所の脚をセンターのポールにそろえるように中央に束ねます。〔図6〕
8. ひとつにまとまったら、引きずらないように横にして〔図7〕 フレームと生地をまとめるように固定ベルト2本を掛けます。〔図8・9〕
（生地に負荷を掛けないようにていねいにおこなってください）
9. 収納袋を上からかぶせ、転がして掬い取るような感じでしまいます。〔図10〕
10. 全て収納し終わったらコンプレッションベルトを締めて、ガタつき等をなくしてから運搬します。〔図11〕
※本体収納ケースは余裕をもって作られているので、備品・オプション類は本体を収納してから後で入れることができます。
※インナーマットのみ別途専用のキャリーケースで運びます。〔図12〕



8 フライシートのシルバーコーティングはがれについてのご注意と補修方法



○湿気・汚れ等避け 1cm 以上の余裕をもって損傷部をクリアシートでカバーするように内側から貼ってください。（※シルバーコート生地も付属）

○補修後は適温で数時間あけ、すぐにテントを使用しないようにしてください。

※メッシュ部分に穴が長じた場合は粘着付きのメッシュパッチをお使いください。

<ベルクロ周りのシルバーコート剥がれ：左とその補修後：右>

<シルバーコーティングの擦れ>

ローゼントの出荷時の状態においてですが、左はシームシールの剥がれによりシルバーコーティング部分が剥がれたものになります、ベルクロ縫い付け箇所が多いために容易に発生する事象であるため、こちらは不具合ではなくメーカー仕様の範囲内となります。光が漏れているので破れているように見えますが、擦れに関しても同様に使用には問題ございません。気になる場合には付属の補修シート（透明）を使って補修いただくようお願いいたします。また、保証についても対象外となっておりますのでご了承ください。
(本電子マニュアル更新2024.4.4)

動画でも設営・収納方法をご確認いただけます

動画でも解説を行っておりますので、詳しくは Youtube 動画マニュアルを御覧ください。

UJack channel ▶ <https://www.youtube.com/c/UJackchannel>



▲詳しい説明はこちら！